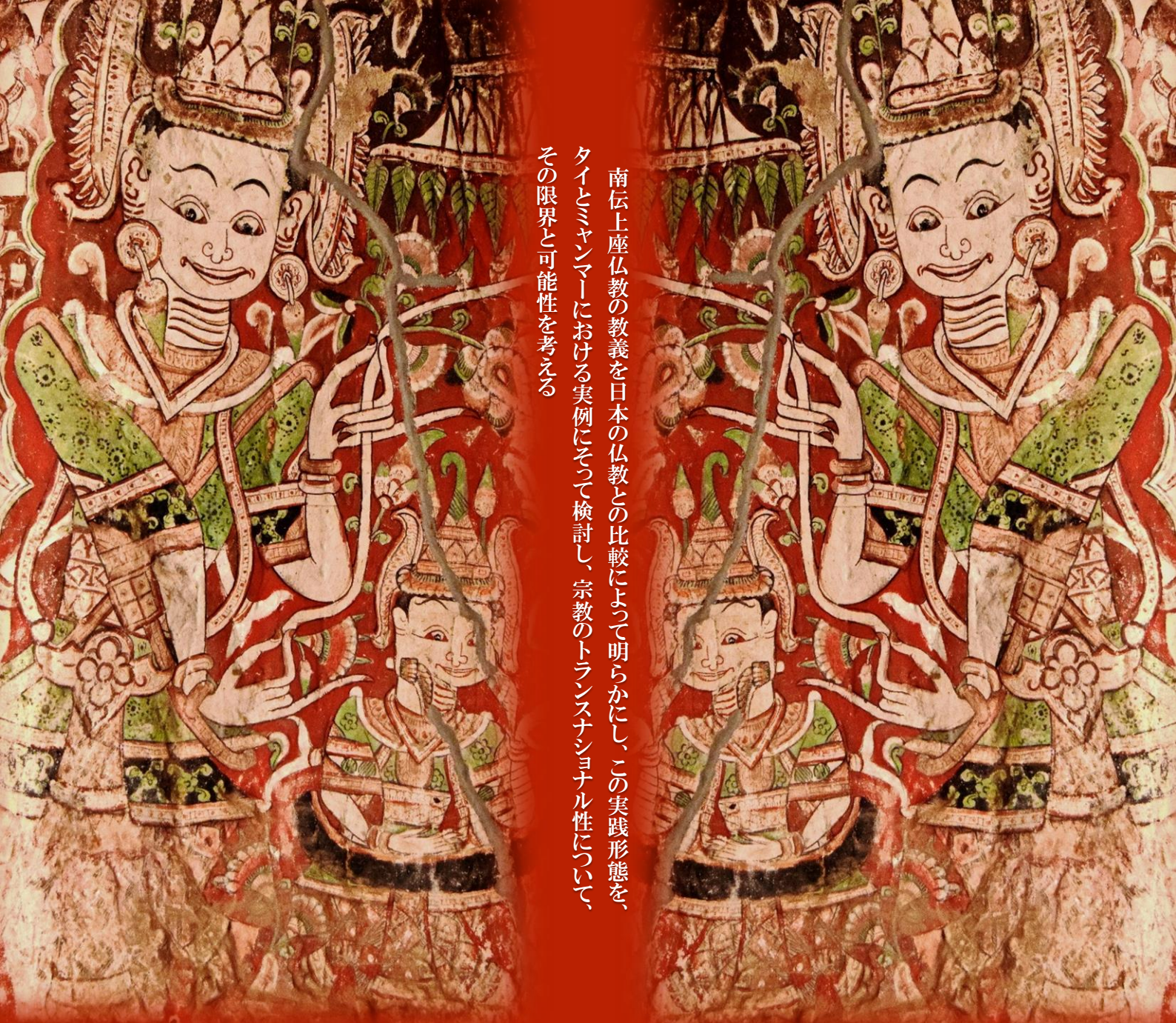




南伝上座仏教の教義を日本の仏教との比較によって明らかにし、この実践形態を、タイとミャンマーにおける実例にそって検討し、宗教のトランスナショナル性について、その限界と可能性を考える

愛知大学人文社会学研究所主催ワークショップ

南伝上座仏教と現代

入場無料
来聴歓迎

開催日時

2016 年
10 月 15 日 (土)
13 : 30 ~ 17 : 00

開催会場

愛知大学豊橋キャンパス
研究館 1 階 第 1・2 会議室

プログラム

13 : 30	問題提起	伊東 利勝 (人文社会学研究所)
13 : 45	南伝上座仏教と日本の仏教	藤本 晃 (浄土真宗誓教寺)
14 : 30	タイ仏教徒社会の宗教実践～動態の諸相～	林 行夫 (京都大学・教授)
15 : 15	休憩	
15 : 30	ミャンマーにおける「パウン仏教」の創出とその実態について	小島 敬裕 (津田塾大学・准教授)
16 : 15	総合討論	

【報告要旨 http://taweb.aichi-u.ac.jp/irhsa/report_1015.pdf 】

アクセス

豊橋鉄道渥美線 「愛知大学前」下車
※ご来場の方は公共交通機関をご利用下さい。



連絡先

愛知大学人文社会学研究所

〒441-8522 豊橋市町畑町 1-1

TEL : 0532-47-4167 / E-Mail : irhsa@ml.aichi-u.ac.jp

URL : <http://taweb.aichi-u.ac.jp/irhsa/>

藤本 晃（ふじもと あきら）

1962 年生まれ。浄土真宗誓教寺住職・パーリ学仏教文化学会理事。専攻：仏教学（特にパーリ語文献による初期仏教）。著作に『ブッダは実在しないのか？』（島田裕巳氏との共著, サンガ, 2016), 『悟りの四つのステージ』（サンガ, 2015), 『日本仏教は仏教なのか？』「第一巻 仏教の起源」（サンガ, 2015), 『「アビダンマッタサンガハ」を読む』（サンガ, 2013), 『浄土真宗は仏教なのか？』（サンガ, 2013), 『ブッダの実践心理学』全 8 巻（アルボムッレ・スマナサーラ氏との共著, サンガ, 2005～2013), 『お葬式の才覚』（新人物往来社, 2011), 『初期仏教経典 現代語訳と解説 餓鬼事経～死者たちの物語～』（サンガ, 2007), 『お布施ってなに？』（国書刊行会, 2007), 『功德はなぜ廻向できるの？』（国書刊行会, 2006), などがある。

林 行夫（はやし ゆきお）

1955 年生まれ。京都大学（地域研究統合情報センター）・教授。専攻：文化人類学, 東南アジア仏教徒社会の宗教。著作に *Phutthasatsana choeng patibat khong thai isan : Satsna nai khwampen phumiphak*, (trans. Phinit Laphathananon, Chulalongkorn University Press, 2011), *Practical Buddhism among the Thai-Lao: Religion in the Making of a Region* (Kyoto University Press and Trans Pacific Press, 2003), 『ラオ人社会の宗教と文化変容—東北タイの地域・宗教社会誌』（京都大学学術出版会, 2000), 『＜境域＞の実践宗教—大陸部東南アジア地域と宗教のトポロジー』（編著, 京都大学学術出版会, 2009) 『講座世界の先住民民族(2)—東南アジア』（合田濤との共編, 明石書店, 2005), *Inter-Ethnic Relations in the Making of Mainland Southeast Asia and Southwestern China* (ed. with Aroonrut Wichienkeo, Amarin Printing and Publishing, 2002), 『変奏と衝突のジャスティス』（谷川竜一・原正一郎・柳澤雅之との共編, 青弓社, 2016) などがある。

小島 敬裕（こじま たかひろ）

1969 年生まれ。津田塾大学学芸学部国際関係学科・准教授。専攻：東南アジア地域研究。著作に『移動と宗教実践—地域社会の動態に関する比較研究』（編著, 京都大学地域研究統合情報センター, 2015), 『国境と仏教実践—中国・ミャンマー境域における上座仏教徒社会の民族誌』（京都大学学術出版会, 2014), 『中国・ミャンマー国境地域の仏教実践—徳宏タイ族の上座仏教と地域社会』（風響社, 2011), 『アジアにおけるシャーマニズムと社会変容』（北沢直宏・前川佳世子との共編, 松香堂書店, 2010), 「ミャンマー上座仏教と日本人」『仏教をめぐる日本と東南アジア地域』（大澤広嗣編, 勉誠出版, 2016), 「徳宏地域の実践仏教」『静と動の仏教—新アジア仏教史 4. スリランカ・東南アジア』（奈良康明・下田正弘編, 佼成出版社, 2011) などがある。

伊東 利勝（いとう としかつ）

1949 年生まれ。愛知大学文学部・教授。専攻：歴史学, 東南アジア史。著作に『ミャンマー概説』（編著, めこん, 2011), 『多民族共生社会のゆくえ—昭和初期・朝鮮人・豊橋』（あるむ, 2007), 「18 世紀エーヤーワディー中流域世界における異人のイメージ」（『愛大史学』25, 2016）「前近代ビルマ語世界における「百一の人種」について」（『文学論叢』151, 2015）, 「コンバウン王国前期における村落コミュニティについて」（『文学論叢』148, 2013）, 「ミャンマーと民族問題」（『ワセダアジアレビュー』12, 2012）, 「漂流する歴史学—科学的実証的歴史学批判—」（『愛大史学』22, 2013）などがある。